



TradeWaltz®

Physical Internet Award

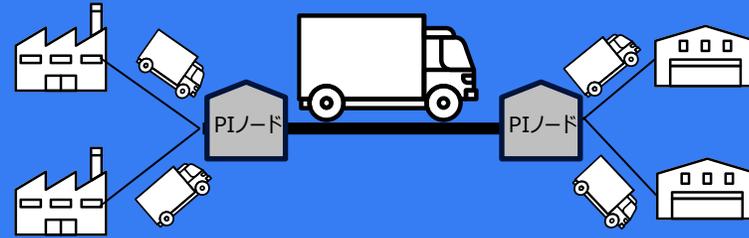
株式会社トレードワルツ 代表取締役 佐藤 高廣



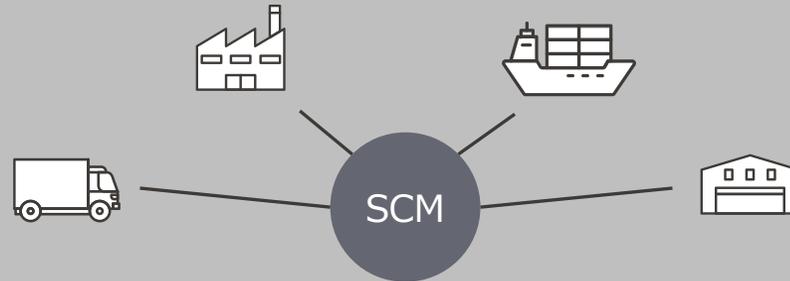
物流最適化は、必ず国境に到達する

物流は単独で存在せずサプライチェーンは海外と接続しているため、最適化を進めると必ず国境に到達し、そこで貿易がボトルネックとなります。

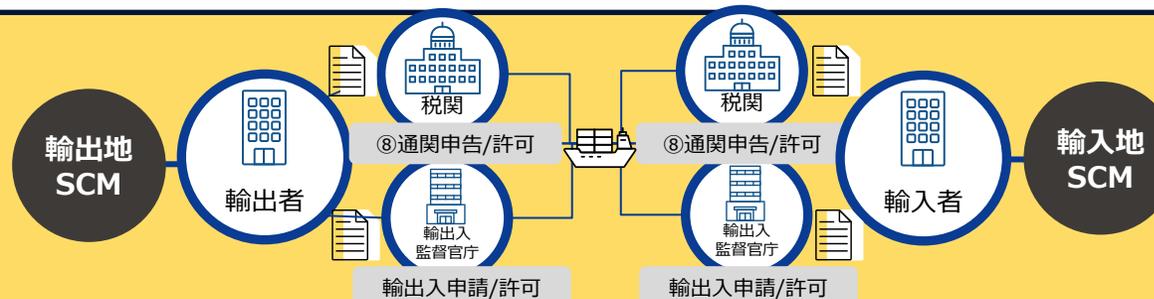
【社会最適】
フィジカルインターネット
(物流の最適化)



【サプライチェーン】
製造 → 在庫 → 販売 → 配送
(企業間連携)



【国境】
輸出入手続き・貿易プロセス
(多主体・多書類)



最適化を進めるほど
「貿易」に到達する

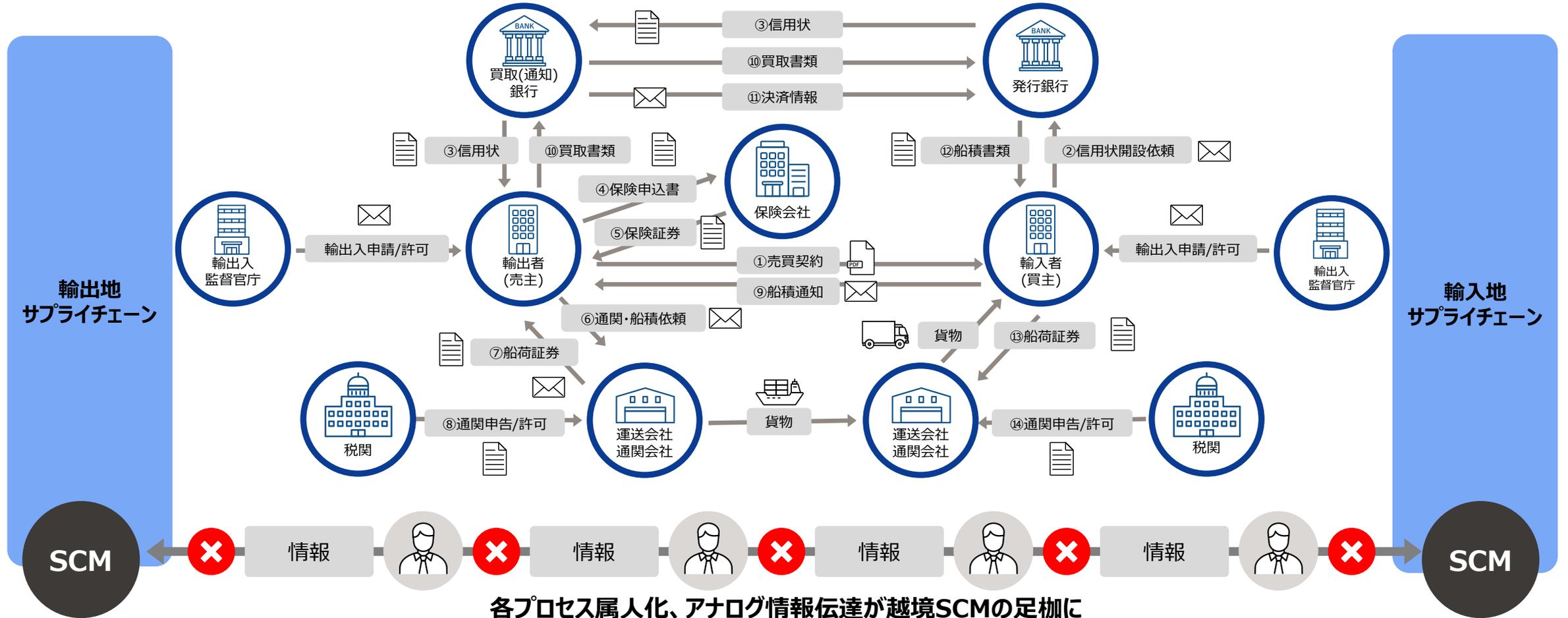
PIのボトルネックは物流ではなく、貿易の情報分断

貿易プロセスは越境サプライチェーンマネジメント（SCM）のアキレス腱

フィジカルインターネットとは、物流をインターネットのように接続し 社会全体で最適化する仕組み。

しかし前提課題がある → サプライチェーンは本当につながっているか？

国内SCM：デジタル化 越境SCM：アナログ（メール・電話・PDF・紙）物流の問題ではなく 貿易プロセスの分断がボトルネック



■ アプローチ 変革の段階 - 目指す貿易DXで越境SCMを実現

貿易DXプラットフォーム” TradeWaltz”がシームレスなデータ共有を可能にし、越境SCM基盤を確立。

標準化⇒データ化⇒可視化⇒効率化⇒短縮化⇒経営数値の改善。TradeWaltzはこの変化を産業横断で実現する基盤です。



越境サプライチェーンマネジメント (貿易物流はSCMの重要コンポーネント)

情報のリアルタイム資産化例 - 動静情報自動取得・更新機能

動静情報を連携するために、船会社システムで確認した動静情報をTradeWaltzへ入力するなどの工数が発生しますが、当該機能を活用することにより、船会社の動静情報をTradeWaltzに自動連携することが可能です。

As-Is

動静情報を取得するために船社情報確認や電話、メールなどの対応が必要

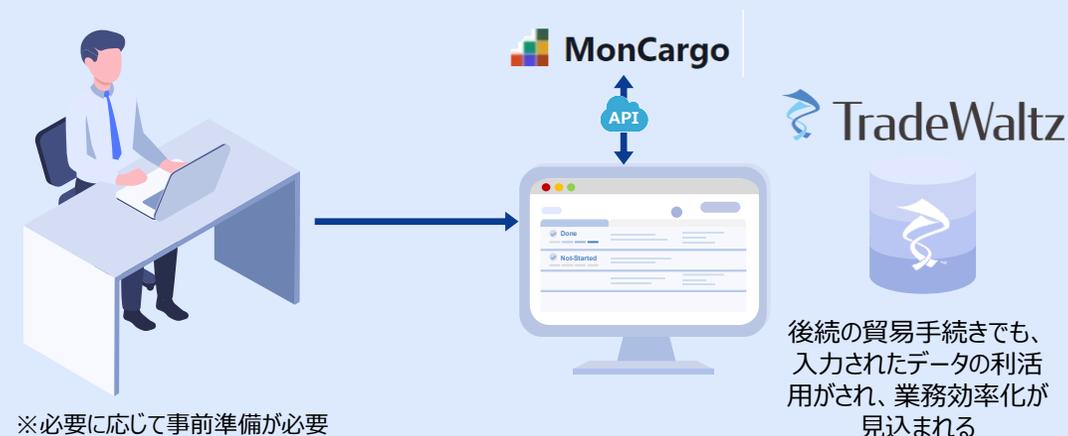


動静情報を連携するために、都度TradeWaltzへ入力が発生

- 動静情報の社内外の連携をするために、船社情報の確認や電話、メール、FAXなど作業が多く発生

To-Be

TW上に必要情報を記載し [ON] すると、動静情報が自動更新



簡単な作業ステップで動静情報を自動更新

- ①マスターBLNo.、マスターBooking No.及び船社名（区分値あり）をTradeWaltzに記載し、②プロセス内で動静自動更新 [ON] をすると、プロセスの動静情報がMonCargoから取得した船社情報で自動更新するため、船社情報の確認や電話、メールなどの対応が不要

「たまった」データを「活かす」機能 - データ分析・セルフBI

貿易に関する各種情報をTradeWaltzに集約することで、ダッシュボード上で過去情報の統計表示やデータ分析が可能となることで、月次レポート作成の容易化や経営戦略の一部として活用

As-Is

ツールの準備、情報の集約及び加工が必要



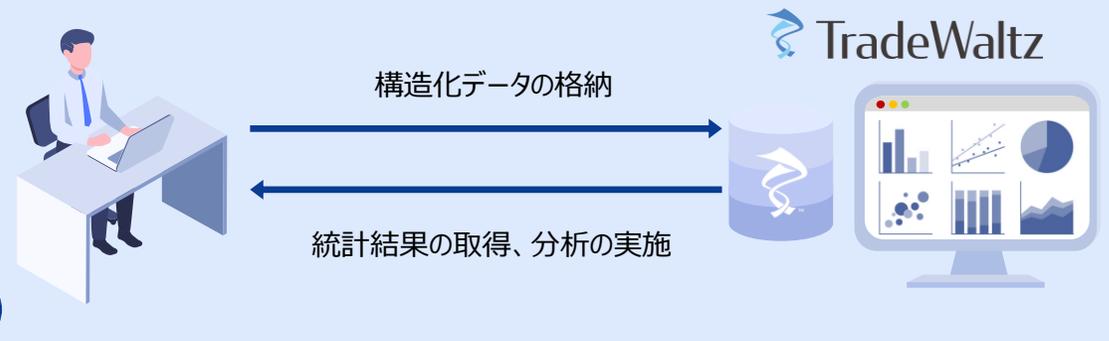
通常業務とは別に、結果の収集やExcel等の加工が必要

- 月次で自社システムや他システムから情報を収集が必要
- 収集した情報をExcel等で加工を行ったり、別途分析用のツールの準備が必要
- 各自は決められた集計結果しか確認することができず、必要な分析が発生した場合は、担当者への依頼が必要

※検討中の機能内容となりますので、実装しない可能性があります

To-Be

構造化データをTradeWaltzに蓄積するだけで統計表示及びデータ分析が可能



TradeWaltz上で業務を行いつつ、データ分析も可能

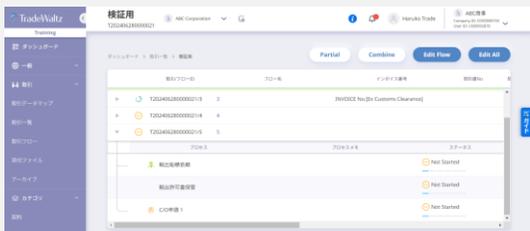
- TradeWaltz情報で構造化データを用いて業務を行うことで必要な情報の蓄積が可能
- 別途分析用のツールの準備不要
- 登録を行えば、いつでも統計情報の確認や表示、分析が可能

集まる・たまる・活かすの先の業務をより円滑にする「つなぐ」(産業連携) 機能

集めてためて活かした貿易データを流通することで、後続業務が円滑に！

荷主とつなぐ

荷役・荷捌依頼、通関依頼

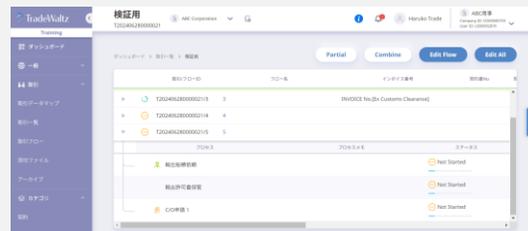


荷主企業と「つなぐ」ことで、荷役・荷捌依頼や通関依頼のやり取りと情報共有がTradeWaltz上でワンストップで行えます。

※AI-OCR機能の活用で構造化データで「つなぐ」ことができるので物流会社も業務が円滑になります。

保険会社につなぐ

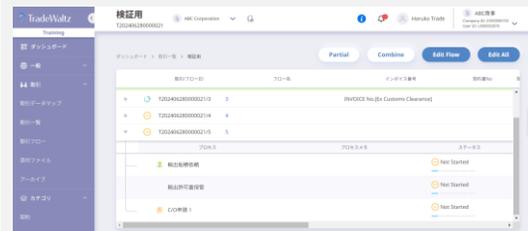
保険申込、保険証券発行



保険会社と「つなぐ」ことで、IPやDNもTradeWaltz上で管理でき、貿易情報一元管理がより高度に行えます。

銀行につなぐ

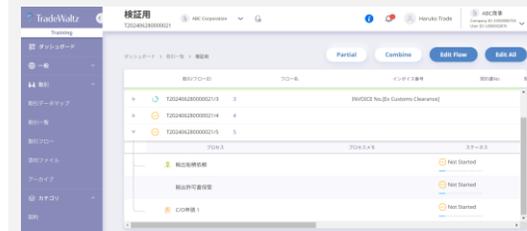
LC接受、LC買取



銀行と「つなぐ」ことで、LC情報を活用した貿易書類作成の円滑化、アナログな買取業務からの脱却に寄与します。

商工会議所につなぐ

CO申請、受領



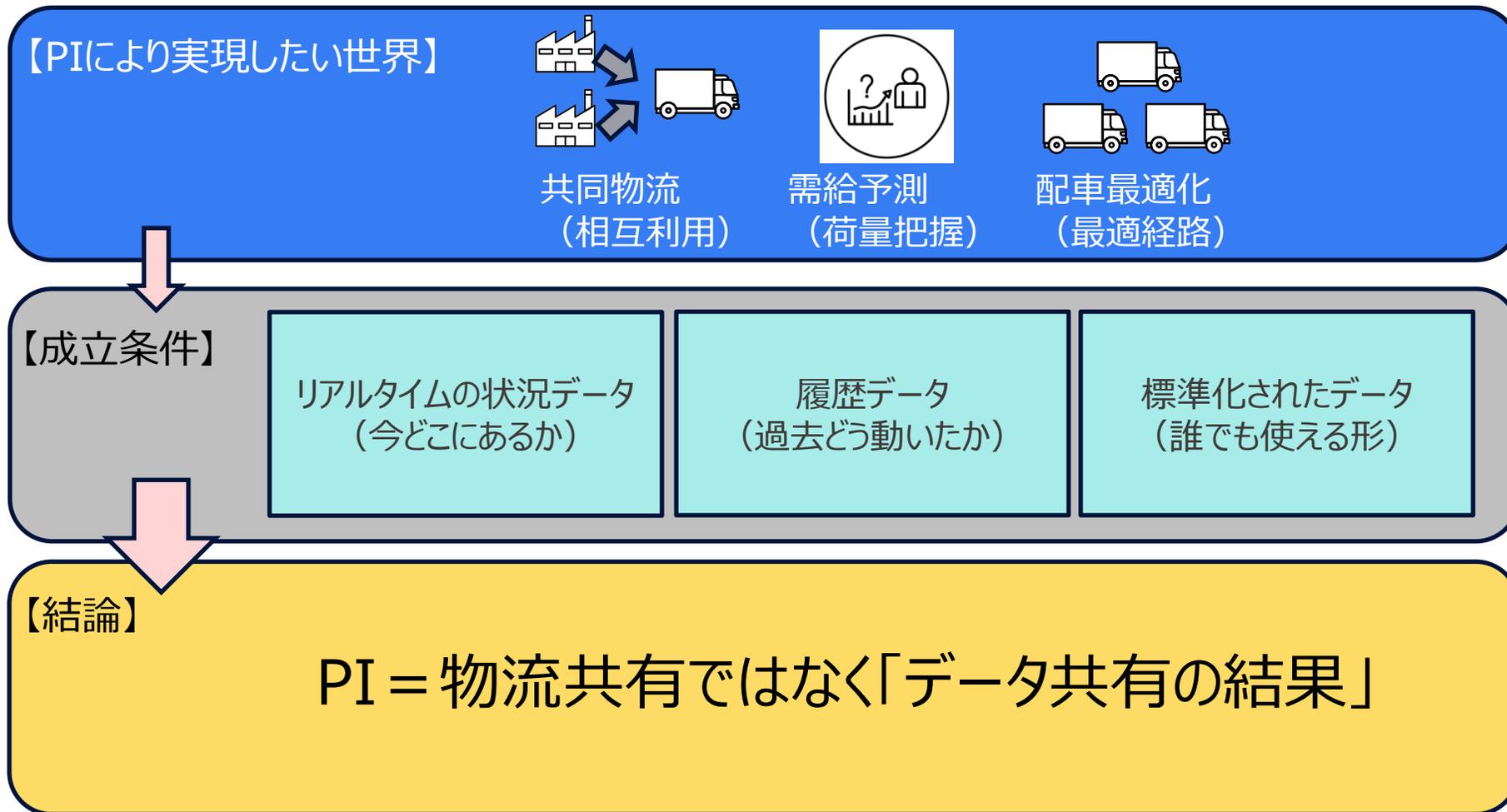
商工会議所と「つなぐ」ことで、TradeWaltz上でドラフトの確認、オリジナルの受領まで完結し、同一情報の二重入力や受領時の余分な時間・コストを解消します。

上記以外にも、こんな「つなぐ」で便利に！

- ・国土交通省システムCyberPortにつなぐ：物流会社にとって貿易情報取得が容易になる
- ・海外連携システムにつなぐ：海外グループ企業にとって貿易情報取得・通関業務が容易になる

Physical Internetに繋がる理由

PIとは物流共有の仕組みではなく、データ共有の結果として実現される社会インフラと我々は考えます。



▶ 国家課題との関係

人口減少、物流危機、そして経済安全保障。いま私たちが直面しているこれらの課題は、一社一社の努力だけでは乗り越えられません。

必要なのは、企業の境界を越えてつながる産業横断のデータ基盤です。

その中で貿易は、商流・物流・金融・行政をまたぐ唯一のプロセスです。

この一点が繋がったとき、日本のサプライチェーンは初めて“線”になります。

Create the Future of Trade

貿易の未来をつくる



TradeWaltz®